

東日本大震災をきっかけとして、新たに地震や津波に対する備えや災害発生時の対策を講じるとともに、大雨災害などのさまざまな災害への対応を図るなど、しっかりと市民の皆さんの生命と財産を守り、安全・安心に暮らせるまちづくりをより一層進めるため、次の施策に取り組みます。

## 1. 危機管理の強化

### 安全・安心に暮らすことができる地域づくり

震災直後に立ち上げた『登別市震災対応市民連絡会議』において、登別市連合町内会や登別市社会福祉協議会など関係機関と協力し、高齢者や障がい者、子どもなど災害時に特に支援が必要な方を含めた市民の誰もが安全・安心に暮らすことのできる地域づくりに取り組みます。

#### 一次・二次避難所のあり方

災害発生時の情報伝達や避難誘導、津波避難ビルの指定を含む一次・二次避難所のあり方などについては、市民の皆さんの意見をいただき、登別市防災会議に諮りながら、地域防災計画の見直しや新たな津波避難計画の策定に取り組みます。

また、津波が発生した際の安全な避難を確保するため、海拔表示板の設置に引き続き取り組みます。

#### 災害時における備蓄品

年次計画で今までの約3倍の量の非常食を備蓄することを始め、毛布やテントなど防災備品などの整備を進めるとともに、胆振管内11自治体で相互補完のできる連携を呼び掛けます。

#### 大雨災害の対応

近年多発している集中豪雨での道路冠水の被害を軽減するため、実施効果の高かった排水清掃や今後の新たな排水整備を、美園町や新生町、富士町などで実施するとともに、公共下水道事業において、中央町の老朽化している雨水管渠施設の改築更新や道道上登別室蘭線拡幅事業の着手にあわせた雨水管渠施設の整備を行い、排水処理機能の強化を図ります。

### 公共施設の耐震化

耐震化は、まずは子どもたちの安全を図るとともに、災害時の避難所となる学校施設の耐震化を最優先に取り組むこととし、平成24年度は、幌別小学校と西陵中学校の体育館の耐震補強工事、登別小学校と富岸小学校の耐震診断を実施します。

また、鶯別小学校は全面改築とあわせ、海岸から近接していることや近隣住民の高齢化率などを踏まえ、防災機能などを兼ね備えた複合的施設を視野に、検討を進めます。

本庁舎など、耐震診断の結果、耐震化が必要な公共施設は、その施設の将来のあり方を検討しながら、改築や耐震補強などを進めることとし、事業実施にあたっては、民間資金などの活用なども視野に入れ研究を進めます。

#### 道道拡幅事業の早期完成

現在、北海道が進めている道道上登別室蘭線『若山地区二期工区』と道道倶多楽湖公園線『紅葉谷工区』拡幅事業は、災害発生時の避難路や災害資機材・物資等の搬入路として重要な機能を発揮することから、その早期完成について、引き続き北海道へ要望していきます。

#### 消防・救急体制

災害・事故現場での迅速・適切な救助活動の向上を図るため、救助工作車を最新の救助資機材を搭載した車両に更新するほか、消防救急無線のデジタル化について、機器整備を進めます。

#### 消防の広域化

引き続き、室蘭市、西胆振消防組合、本市の3消防本部で、住民サービスや消防体制などの課題を整理し、将来ビジョンについて市民の皆さんの意見をいただきながら、調査・研究を進めます。

## 2. 見守る福祉の増進

### 自立した生活を送ることができるまちづくり

登別市における福祉施策を推進する上で基本理念となる『(仮称)登別市福祉のまちづくり条例』とその具体的な方向性を示す『登別市地域福祉計画』を平成24年度中に策定し、登別市社会福祉協議会の『登別市地域福祉実践計画(愛称:さずな)』と連携しながら、市民の誰もが地域で安心して暮らし、自立した生活を送ることができるまちづくりを目指します。

#### 健康づくり

各種がん検診の推進事業や妊婦健診の支援事業、子宮頸がんなどの3種ワクチン接種助成事業を引き続き実施するとともに、自殺者の予防を図るため、北海道の地域自殺対策緊急強化基金を利用し、道内初となる『こころの体温計』を導入します。

#### こころの体温計

パソコンや携帯電話などで、あなたや家族のメンタルヘルスをチェックできるページ。道内では、登別市が初めて導入します。

### 高齢者福祉

平成24年度から平成26年度までの『高齢者保健福祉計画』と『介護保険事業計画』の第五期計画に基づき、長寿社会にふさわしい高齢者保健福祉の構築を目指し、登別市が高齢者にとって生きがいを持って安心して暮らせるまちになるよう、総合的かつ計画的に施策を推進します。

特に、北海道の『第五期高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画(案)』では、『みんなが支える明るく活力に満ちた高齢社会』づくりを基本テーマに住民参加型の地域づくり推進のための取り組みが盛り込まれていることから、登別市でも、高齢者などの地域からの孤立を防ぐための高齢者等訪問見守り事業や災害時の支援や買い物支援など、各般の施策と連携した高齢者の生活支援の取り組みを進めます。

#### ユニバーサルデザインを導入した公営住宅

年齢や性別、障がいの有無に関わらず利用できる『ユニバーサルデザイン』を導入した登別旭団地の建替工事を行い、平成24年度は既存の5棟20戸のうち3棟12戸を除却し、これまで市内の公営住宅にはなかった、ぬくもりを感じられる木造平屋建の2棟8戸を建設します。